

第 21 回勝山市生活交通地域協議会 会議録要旨（令和 3 年度 第 4 回）

1.開催日時：令和 3 年 10 月 26 日（火）14 時 20 分～15 時

2.開催場所：市民会館 3 階 第 1 会議室

3.出席委員：敬称略

区分	所属団体及び役職等	氏 名	備考
学識経験者	福井大学 教授	野嶋 慎二	
関係機関	国土交通省中部運輸局福井運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	神戸 英至	
	福井県地域戦略部 交通まちづくり課長	堤 宗和	代理 参事 廣瀬 貴之
	奥越土木事務所 勝山道路課技術次長	橋本 盛夫	
	勝山警察署 交通課長	川崎 ゆう子	
	勝山市区長連合会 会長	杉平 信夫	
	勝山市高齢者連合会 代表	松下 文男	代理 木下 潔
	勝山市民生委員児童委員協議会 会長	竹内 芳昭	
	えちぜん鉄道株式会社 営業開発グループ 部長	佐々木 大二郎	代理 吉田 周平
	京福バス株式会社 経営推進室 企画営業グループ 部長	吉田 明史	代理 係長 宮下 泰浩
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	山内 誠司	
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦	
	福井県交通運輸産業労働組合協議会	鑑継 英明	
市職員	副市長	小沢 英治	
	教育委員会事務局長	北川 昭彦	
	技幹(都市建設課長)	木下 秀樹	
	商工観光・ふるさと創生課長	竹生 禎昭	
	福祉事務所長	西 美智子	代理 課長補佐 天立 敬紀
	政策幹	伊藤 寿康	
事務局	環境政策課 課長	藤澤 和朝	
	環境政策課 課長補佐	高島 朗	
	環境政策課 生活環境係長	齋藤 恵一	
	環境政策課 主査	山口 理絵	

4.欠席委員：なし

5.傍聴人の数：なし

6.議題 (1) 勝山市地域公共交通計画の策定について

7.会議資料

資料 1 地域公共交通の課題と課題解決の方向性

資料 2 市民アンケート調査結果の概要

参考資料 1 勝山市地域公共交通計画(案)

8.議事等内容

(1) 勝山市地域公共交通計画の策定について

- 野嶋座長 事務局の説明についてご質問等があればお願いします。
- 杉平委員 バス停についてですが、ここ何年間で新しいバス停を設置している。バス停を設置してほしいという方がいられたので、設置してもらったが、もう利用していないようだ。利用されていないバス停を廃止するとよいのではないか。バス停の見直しというものを行って頂きたい。バス停間も距離が近い。
- 事務局 バス停については増設していく方針でいしましたが、なかなか利用促進につながっていないのが現状です。ただバス停をなくすことは容易ではないので、交通計画の策定に際し利便性の向上を目指す中で検討したいと考えています。バス停のあり方についても、事務局で考えてすすめていきたいと考えています。
- 野嶋座長 他に何かご意見はございませんか。
- 竹内委員 将来的に解決できればと思い、お話しします。
- 民生委員をしています。高齢者は一人暮らしの方が多いです。女性の方はバスで移動したりすることが多いのですが、男性の方はバスを使って移動することが苦手だと感じている方が多いみたいです。
- 運転免許証を自主返納した方が電動自動車以北郷から市内中心部まで行く方がいる。たいへん危ないことだと思う。何か違う方法がないか、模索しています。
- あと、勝山市内でバスを利用することですが、足が不自由で動けずわずかな距離でも歩くことができない方がいることが現状としてあります。具体的にどうしていくことがいいのか、私たちも考えていきまし、今後の公共交通を考える上で考慮に入れて頂きたい。
- 野嶋座長 運転免許証を返納した後の移動について、公共交通の担い手も含めて、今後コミュニティや事業者全体でどのように支えていくのか、どうするのか。ぜひとも、すみずみまでいきわたるような公共交通計画になっていけたらいいと思います。
- こうしたお話を聞かせて頂いて、公共交通計画を策定していくことは地域を支えていく画期的な取組だと思えます。
- 公共交通は本数を増やすというより、セーフティネットという取組だと思えます。どういったところまでセーフティネットとして支えていくのか計画が楽しみであります。

中村委員 まちづくりと連携した公共交通ということから、恐竜博物館から街中への観光ということで、7月から8月に道の駅から街中までのバス運行を行いました。恐竜博物館は途中休館となったので残念でしたが、土日曜日に行いましたが、かなりの観光客のかたの利用がありました。ジオパークについて説明できるガイドさんをつけ、本町まで行く企画をしました。

博物館から街中に誘客することが勝山の課題で、公共交通でそれができたらよいと考えています。

野嶋座長 たいへんよい企画でしたね。

勝山のよいところをめぐるルートをつくるとよいですし、大野と勝山をつなぐルートもよい取組です。

杉平委員 バスを利用したいがバス停までいかれない人がいる。

デマンドで運行しているが、将来的には家の玄関まできてくれるようになっていないと、病院や買い物に行くことができない、家の玄関まで来てくれるように考えてほしい。

野嶋座長 このことに対していかがでしょうか。

事務局 全国での取組のなかにそうした事例があるのは承知しています。

今の勝山市では定時定路線でバス停をまわることで運行しています。ただ勝山市のかなり細かいところまで集落単位で運行しています。

元気な方はバス停まで歩いていただければよいのですが、身体の不自由な方はどうするのか、公共交通の分野あるいは福祉の分野でケアするのか、福祉の担当者と話しながら、公共交通計画の中に盛り込んでいけたらと考えています。

野嶋座長 その他ご意見はありませんでしょうか。よろしいでしょうか

繰り返しますが、公共交通計画は市民の方、事業者等みなさんでつくっていく計画なのでご協力をお願いいたします。

それでは事務局より提案のありました勝山市地域公共交通計画の策定についてはよろしいでしょうか。

一同 承認

(2) その他

野嶋座長 次回はいつになりますか。

事務局 11月中には開催し、計画をお示しできればと考えています。

野嶋座長 他になれば、これで第21回勝山市生活交通地域協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。